

感染対策を行って

歯科医療連携協力医研修会を開催しました！



研修会の様子



当センター歯科医師
山口 さやか



当センター言語聴覚士
川西 亜耶子

令和3年2月4日（木）午後7時から当センター研修室にて、令和2年度歯科医療連携協力医研修会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底を図るため、受講者の定員を24名に限定して研修会を実施しました。「当センターで行っている機能療法(摂食嚥下機能療法・言語聴覚療法)の実際」をテーマに、当センター歯科医師の山口さやかと言語聴覚士の川西亜耶子が講師を務めました。前半は歯科医師の山口が当センターの現在の摂食受診状況、摂食嚥下機能障害の分類や代表的な疾患、小児の摂食嚥下機能障害における口腔・身体機能評価のポイント、摂食機能獲得段階に応じたアプローチ方法を実際の症例を通してお話ししました。後半は言語聴覚士の川西が、言語聴覚士の概要や障害者歯科における言語聴覚士の役割、知能・言語の発達や感覚の偏りをみる検査、構音・言語発達障害に対するアプローチ方法について説明し、実際の診療の様子を音声や動画を用いて紹介しました。

研修会終了後のアンケートより、参加者からwebでの研修会開催のご意見を頂き、今後はより多くの方が安心して気軽に本研修会へ参加できるよう検討していきたいと思っております。

研修時の感染対策

清拭・消毒作業



研修会実施前後に研修室内の消毒を行います。

飛沫防止



受付と演台にアクリル板やビニールシートを設置しています。

密を避けた座席配置



座席は密にならないよう前後互い違いに配置し、指定席にしています。

手指消毒・検温



入室前に手指消毒・検温を実施します。

専用入口・出口の設定



専用の入口・出口を設定することで一方通行となるようにしています。

換気



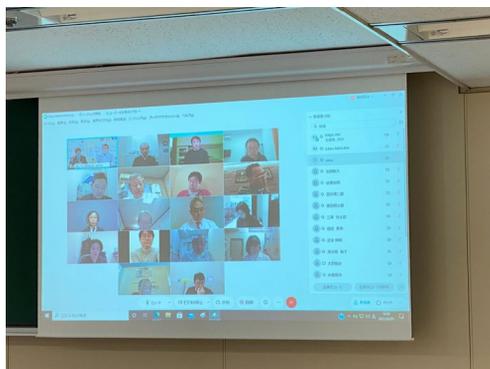
扉を開け扇風機を設置し、換気の徹底をします。

令和2年度 第1回 機能連携委員会が開催されました

今年度の機能連携委員会は令和3年2月1日（月）に初のWeb形式で行われました。機能連携委員会とは、地区口腔保健センターを設置する都内19地区歯科医師会の障害者歯科を担当する委員が会合し、情報交換や協議を行い、相互の医療連携を図ることを目的に行われる委員会です。



【当センター研修室の会場】



【画面を見ながら協議を進行】

小石川歯科医師会 山口 学議長のもと、議事は進行されました。このたび「地区センターを介した地域歯科医院への連携について」というテーマで協議を行いました。当センターから地域へ患者さんを紹介する際、当センターの協力医・登録医への紹介に加えて、今後、地区口腔保健センターを中継点として、地域歯科医院へ紹介いただく医療連携を検討しています。協議の中では、地区口腔保健センターでの治療終了後、患者の円滑な地域移行ができていない現状が見受けられ、今後、実効性のある医療連携システムにするため、今回の協議での意見を踏まえた上で行っていく必要があると考えられました。

また本委員会開催に先立ち、各地区口腔保健センターで実施している感染症対策についてのアンケートを行いました。現在もお、感染防護具の物流が不安定な状況ですが、このような状況下においても各地区口腔保健センターでは、感染防護具の在庫を確保しながら、診療体制を維持している状況でした。

来年度は一同会して本委員会が開催できることを願って、調布市歯科医師会 森田泰典先生の挨拶にて閉会しました。

登録医証を発行します

これまで協力医の先生方には協力医証を発行していましたが、今年度から当センターの登録医の先生方にも登録医証を発行することになりました。待合室や診療室に掲示していただくなど、是非活用するようお願い致します！

登録医とは？

「登録医」とは、地域の歯科医療機関で障害のある方を受け入れ、歯科治療や定期管理などを行っていただく先生のことです。登録医と当センターが役割分担をしながら、患者さんひとり一人に適した歯科医療を継続的に提供していきたいと考えております。地域での受け入れの輪を広げ、円滑な医療連携が行えるよう、是非「登録医」制度にご協力ください。詳しくは当センターHPをご覧ください。



【発行する登録医証】

「連携だより」に関する問い合わせ：東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室
TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213